



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 マックス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6454 URL <https://www.max-ltd.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 辰志
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 (氏名) 須田 庸夫 TEL 03-3669-8106
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・ファンドマネージャ向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	69,010	5.6	11,477	16.2	12,145	16.1	9,109	14.0
2024年3月期第3四半期	65,332	2.3	9,879	30.1	10,463	26.8	7,989	36.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 10,849百万円(4.1%) 2024年3月期第3四半期 10,420百万円(42.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	195.80	—
2024年3月期第3四半期	169.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期第3四半期	127,746	106,044	82.9	2,276.20
2024年3月期	121,717	99,847	81.9	2,143.94

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 105,909百万円 2024年3月期 99,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	101.00	101.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	112.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	91,300	5.4	13,800	9.5	14,100	2.8	10,600	1.6	228.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	46,537,426株	2024年3月期	47,537,426株
2025年3月期3Q	8,344株	2024年3月期	1,020,076株
2025年3月期3Q	46,523,860株	2024年3月期3Q	47,011,217株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

① 第3四半期連結累計期間の全社業績

(単位：百万円、%)

	当期 (2025年3月期)	前期 (2024年3月期)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	69,010	65,332	+3,677	+5.6
営業利益	11,477	9,879	+1,598	+16.2
経常利益	12,145	10,463	+1,681	+16.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,109	7,989	+1,120	+14.0
1株当たり四半期純利益	195.80円	169.94円	+25.86円	—
営業利益率	16.6	15.1	+1.5ポイント	

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では底堅く推移し、国内や欧州でも緩やかな回復基調が継続しました。

国内は、当社インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数が引き続き減少し、非居住建築物の着工床面積も低調に推移しました。米国は、足元で住宅ローン金利が再び上昇し、住宅着工の低迷が続いた一方で、建設投資は引き続き堅調に推移しました。欧州は、利下げやインフレの抑制に伴い、景気に持ち直しの動きが見られるものの、ドイツや北欧では建設市況の低迷が継続しました。

このような状況の下で、売上高は690億1千万円(前年同期比5.6%の増収)、営業利益は114億7千7百万円(同16.2%の増益)となりました。経常利益は121億4千5百万円(同16.1%の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は91億9百万円(同14.0%の増益)となりました。

② 第3四半期連結累計期間の部門別業績

(単位：百万円、%)

		当期 (2025年3月期)	前期 (2024年3月期)	前年同期比	
				増減額	増減率
オフィス機器部門	売上高	16,363	15,642	+720	+4.6
	セグメント利益	3,297	2,903	+394	+13.6
	セグメント利益率	20.2	18.6	+1.6ポイント	
インダストリアル 機器部門	売上高	50,134	47,236	+2,898	+6.1
	セグメント利益	11,563	9,926	+1,637	+16.5
	セグメント利益率	23.1	21.0	+2.1ポイント	
HCR機器部門	売上高	2,511	2,453	+58	+2.4
	セグメント利益	△67	△17	△50	—
	セグメント利益率	△2.7	△0.7	△2.0ポイント	
調整額(全社費用)		△3,316	△2,932	△383	—
全社	売上高	69,010	65,332	+3,677	+5.6
	営業利益	11,477	9,879	+1,598	+16.2
	営業利益率	16.6	15.1	+1.5ポイント	

『オフィス機器部門』

オフィス機器部門は、売上高163億6千3百万円(前年同期比4.6%の増収)、セグメント利益は32億9千7百万円(同13.6%の増益)、セグメント利益率は20.2%となりました。

「国内オフィス事業」は、売上高55億7千6百万円(前年同期比1.3%の増収)となりました。

文具関連製品の販売が減少したものの、新たな化学物質規制に対応したラベル用途の提案活動の推進などにより、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加しました。

「海外オフィス事業」は、売上高44億円(前年同期比1.9%の減収)となりました。

展示会への出展増など営業活動の強化により、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加したものの、東南アジアでの文具関連製品の販売が低調に推移しました。

「オートステープラ事業」は、売上高63億8千6百万円(前年同期比13.0%の増収)となりました。

取引先からの受注が引き続き底堅く推移し、機械・消耗品の販売が増加しました。

『インダストリアル機器部門』

インダストリアル機器部門は、売上高501億3千4百万円(前年同期比6.1%の増収)、セグメント利益は115億6千3百万円(同16.5%の増益)、セグメント利益率は23.1%となりました。

「国内機工品事業」は、売上高159億5千9百万円(前年同期比2.1%の減収)となりました。

鉄筋結束機の累計稼働台数の増加により、その消耗品の販売が好調に推移した一方で、新設住宅着工戸数の減少の影響により、木造建築物向け工具の販売が低迷しました。

「海外機工品事業」は、売上高252億5千1百万円(前年同期比13.5%の増収)となりました。

北米では、非住宅市場に対する建設支出の堅調な推移などにより、鉄筋結束機の消耗品の販売が増加しました。欧州では、北欧での回復に遅れがみられるものの、市況が堅調なエリアでの継続的な活動強化などにより、鉄筋結束機の機械とその消耗品が堅調に推移しました。

「住環境機器事業」は、売上高89億2千3百万円(前年同期比2.7%の増収)となりました。

主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリプレイス向け(既設機の置き換え)でやや停滞したものの、一部OEM先向けで引き続き堅調に推移しました。

『HCR機器部門』

HCR機器部門は、売上高25億1千1百万円(前年同期比2.4%の増収)、セグメント利益は△6千7百万円となりました。

国内市場で車いすの販売が減少したものの、中国のレンタル市場向けの車いすの販売が堅調に推移しました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

連結貸借対照表 要約

(単位：百万円、%)

	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	前連結会計年度 (2024年3月31日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率
総資産	127,746	121,717	+6,029	+5.0
純資産	106,044	99,847	+6,197	+6.2
自己資本比率	82.9	81.9	+1.0ポイント	

資産の部は、前連結会計年度末に比べ、60億2千9百万円増加し、1,277億4千6百万円となりました。流動資産については、有価証券が23億4百万円減少しましたが、現金及び預金が73億7百万円、受取手形及び売掛金が4億7千3百万円、仕掛品が2億6千6百万円増加したことなどにより、61億9千2百万円増加しました。固定資産については、有形固定資産が4億1千7百万円増加しましたが、投資有価証券が9億2千1百万円減少したことなどにより、1億6千3百万円減少しました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ、1億6千8百万円減少し、217億2百万円となりました。流動負債については、未払法人税等が9億8千9百万円増加したことなどにより、10億1千7百万円増加しました。固定負債については、退職給付に係る負債が11億6千8百万円減少したことなどにより、11億8千5百万円減少しました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ、61億9千7百万円増加し、1,060億4千4百万円となりました。株主資本は、剰余金の配当が46億9千8百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が91億9百万円あったため、44億5千8百万円の増加となりました。

その他の包括利益累計額については、為替換算調整勘定が15億3千5百万円増加したことなどにより、17億2千万円増加しました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が49億5千万円増加したことにより、345億3千万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、103億2千3百万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が126億1千8百万円、減価償却費が24億6千7百万円、一方で主な減少は、法人税等の支払額が26億3千3百万円、退職給付に係る負債の増減額が13億2百万円、賞与引当金の増減額が11億4千5百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、6億9千2百万円となりました。主な減少は、定期預金の預入による支出が93億1千9百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が21億3千2百万円、有形固定資産の取得による支出が18億2千3百万円、一方で主な増加は、定期預金の払戻による収入が69億7千5百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が58億3千5百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、51億3千1百万円となりました。主な減少は、配当金の支払額が46億9千2百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の第3四半期までの業績の堅調な推移などにより、2024年10月31日に公表しました予想値を上回る見込みとなりましたので、2025年3月期通期の連結業績予想を修正しました。

なお、詳細につきましては、2025年1月31日に公表しました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

配当の状況

当社の配当政策は「連結決算を基準に、純資産配当率5.0%、配当性向50%を目安とする」としています。

当期は、ウクライナ情勢の長期化や欧州の不透明な景気見通し等の社会経済環境、為替動向などが当社業績に影響を及ぼす可能性があります。現在のところ業績は堅調に推移しております。

上記の配当政策及び業績予想に基づき、前期101円から11円増配の「1株当たり年間配当金112円」に配当予想を修正いたします。

なお、詳細につきましては、2025年1月31日に公表しました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,624	38,931
受取手形及び売掛金	15,770	16,244
有価証券	6,595	4,290
商品及び製品	10,839	10,954
仕掛品	1,026	1,292
原材料	2,082	2,112
その他	1,456	1,762
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	69,392	75,585
固定資産		
有形固定資産	26,357	26,775
無形固定資産	514	562
投資その他の資産		
投資有価証券	21,408	20,486
その他	4,054	4,346
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	25,453	24,823
固定資産合計	52,324	52,161
資産合計	121,717	127,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,671	4,034
短期借入金	1,050	850
未払法人税等	989	1,979
賞与引当金	2,855	1,715
役員賞与引当金	103	83
製品保証引当金	189	191
固定資産撤去費用引当金	26	-
その他	5,411	6,459
流動負債合計	14,297	15,314
固定負債		
長期借入金	125	125
製品保証引当金	15	9
退職給付に係る負債	6,135	4,966
資産除去債務	135	135
その他	1,162	1,150
固定負債合計	7,573	6,387
負債合計	21,870	21,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,367	12,367
資本剰余金	10,535	10,517
利益剰余金	70,267	72,094
自己株式	△2,670	△21
株主資本合計	90,500	94,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,721	2,996
土地再評価差額金	△339	△339
為替換算調整勘定	5,388	6,924
退職給付に係る調整累計額	1,460	1,370
その他の包括利益累計額合計	9,230	10,950
非支配株主持分	116	134
純資産合計	99,847	106,044
負債純資産合計	121,717	127,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	65,332	69,010
売上原価	35,240	35,745
売上総利益	30,092	33,264
販売費及び一般管理費		
給料	4,664	4,985
賞与引当金繰入額	916	1,024
役員賞与引当金繰入額	81	83
退職給付費用	604	249
荷造発送費	2,446	3,083
販売促進費	1,115	1,202
減価償却費	889	958
貸倒引当金繰入額	-	0
その他	9,494	10,197
販売費及び一般管理費合計	20,212	21,786
営業利益	9,879	11,477
営業外収益		
受取利息	129	245
受取配当金	174	193
為替差益	210	112
その他	115	167
営業外収益合計	629	719
営業外費用		
支払利息	27	18
その他	17	32
営業外費用合計	44	51
経常利益	10,463	12,145
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	69	495
特別利益合計	70	497
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	50	11
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	-	12
特別損失合計	50	24
税金等調整前四半期純利益	10,484	12,618
法人税等	2,492	3,502
四半期純利益	7,991	9,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,989	9,109

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	7,991	9,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	605	274
為替換算調整勘定	1,558	1,548
退職給付に係る調整額	265	△89
その他の包括利益合計	2,428	1,733
四半期包括利益	10,420	10,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,415	10,830
非支配株主に係る四半期包括利益	4	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,484	12,618
減価償却費	2,259	2,467
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,096	△1,145
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△19
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	47	△3
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	26	△26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△174	△1,302
受取利息及び受取配当金	△303	△439
支払利息	27	18
為替差損益 (△は益)	△254	32
固定資産廃棄損	50	11
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△69	△495
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	12
従業員預り金の増減額 (△は減少)	737	641
売上債権の増減額 (△は増加)	△287	△333
棚卸資産の増減額 (△は増加)	531	△22
仕入債務の増減額 (△は減少)	△239	292
未収消費税等の増減額 (△は増加)	116	△41
未払消費税等の増減額 (△は減少)	315	△222
その他の資産の増減額 (△は増加)	△176	86
その他の負債の増減額 (△は減少)	562	406
小計	12,556	12,536
利息及び配当金の受取額	302	438
利息の支払額	△27	△17
法人税等の支払額	△4,180	△2,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,651	10,323
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,441	△9,319
定期預金の払戻による収入	345	6,975
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4,807	△2,132
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	4,984	5,835
有形固定資産の取得による支出	△2,143	△1,823
有形固定資産の除却による支出	△10	△5
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△176	△178
貸付けによる支出	△40	△62
貸付金の回収による収入	18	15
資産除去債務の履行による支出	△0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,269	△692

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△100	△200
自己株式の取得による支出	△2,432	△0
自己株式の処分による収入	0	-
配当金の支払額	△3,686	△4,692
非支配株主への配当金の支払額	△1	△0
リース債務の返済による支出	△209	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,429	△5,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	855	450
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△192	4,950
現金及び現金同等物の期首残高	26,987	29,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,795	34,530

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	15,642	47,236	2,453	—	65,332
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,642	47,236	2,453	—	65,332
セグメント利益又は損失(△)	2,903	9,926	△17	△2,932	9,879

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△2,932百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△2,932百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	オフィス機器	インダストリアル機器	HCR機器		
売上高					
外部顧客への売上高	16,363	50,134	2,511	—	69,010
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,363	50,134	2,511	—	69,010
セグメント利益又は損失(△)	3,297	11,563	△67	△3,316	11,477

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3,316百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△3,316百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。